

蛇の神様 = = = 三州横山話より

鳳来寺山門谷の、里人が白岩様と呼ぶ神様は、ご神体が蛇で、この神に願をかけたときは、お礼に白米を供えと言います。昔は蛇が姿を見せてその米を食べたと言いますが、現在は蛇の体が大きくなったため、穴より外に出ることが出来なくなって、里人にもみることは出来ないと言います。この神が、門谷の庚申堂の尼に思いをかけて美男に化けて



毎夜尼のもとへ通ったため、尼は日ごとに衰弱してついに死んでしまったなどと言いました。その尼のもとへ通って来る若い男の姿を見たものはあっても、白岩様と知るものはなかったのを、尼が自慢に附近のものに話したと言います。近年この神に靈験ありと伝えて、立派な御堂などを寄進するものがあって、非常な繁盛をしていると話を聞きました。



門谷の鳳来寺表参道の一番奥、そこからは石段が始まる所の右方に、雲竜荘という宿屋があります。その雲竜荘の駐車場から、如何にも蛇が棲みそうな、苔生した大小の岩が積み重なった間にある石段をのぼって行くと、白岩大龍王のお幟が立っていました。龍になってしまっはよほどの穴でないと出て来れないと思います。その分、靈験も大きくなったと思われるので、願い事がある人は一度お参りしてはいかがでしょうか。

住職がいるという話だったので、会って話を聞きたいと思い、声をかけてみたのですが、会うことは出来ませんでした。機会があったら、また、行ってみたいと思っています。